



2016 年度

# 事業計画書

公益財団法人 **神戸 YWCA**

# 2016年度 神戸YWCA事業・活動計画

## I 平和・人権事業

### ■平和活動部

#### 【活動方針・活動目標】

- ・非核・非暴力の平和な社会を求める。
- ・若い人、関心のない人たちにも参加してもらえるようなプログラムを進める。
- ・平和憲法をまもる活動を継続する。

#### 【活動計画】

##### ①平和集会

目的：活動方針・目標を具体的に進めるため集会を開く。

内容：若い人、関心のない人たちにも参加してもらえるような内容

対象者：一般

実施日時：未定

実施頻度（回数）：1回/年

実施場所：本館5階チャペルまたは青少年会館

##### ②憲法出前プログラム

目的：憲法について考えたことのない人たちに、憲法や立憲主義について考えてもらう機会を提供する。

内容：(1) 立憲主義を知り、主権者としての自覚を持つ←明日の自由を守る若手弁護士の会作成の紙しばい「王様を縛る法～憲法のはじまり～」を紹介

(2) 現行憲法と自民党改正草案を比較検討し、自分たちの暮らしへの影響を考える。

対象者：若い世代（高校生・大学生～社会人）

実施日時：出前先と調整のうえ適宜

実施頻度（回数）：年3、4回

実施場所：出前先

##### ③どうなってるの、今の日本!?

目的：「今の日本」について共に考え、自分のことばで意見を述べることを目指す。

内容：時事トピックを取りあげて知識を深め、意見交換する。

対象者：一般

実施日時：年2回

実施頻度（回数）：2回

実施場所：本館5階チャペル

備考：運営委員会との共催

### ■いもづる

#### 【活動方針・活動目標】

今年度のいもづるは、グループの存続の是非が問われることとなる。さまざまな面で活動の見直しを行なっていくことになる。ミーティングを定期的にかけて活動のやり方を検討しながら、年度後半には講演会を開催できるよう、取り組んでいきたい。

#### 【活動計画】

##### ①講演会

目的：近現代史における平和を学び考える機会を提供する。

内容：外部講師を招いて、近現代史や戦争と平和をめぐる学びを得る機会を提供する。

対象者：平和学習に関心のある人

実施日時：未定（夏～秋）

実施頻度（回数）：年1回

実施場所：神戸YWCA本館

##### ②読書会

目的：メンバーの近現代史や平和に関する学びを深め、発信する。

内容：テキストを用いて読み合わせ、話し合う（半藤一利『昭和史』、岡村昭彦『我々はどんな時代に生

きているのか』、『ビッグイシュー』の沖縄基地特集、など)。

対象者：メンバー

実施日時：未定

実施頻度(回数)：年に数回

実施場所：神戸YWCA本館、もしくは佐治さん宅

## ■ピース・ブリッジ (Peace Bridge)

### 【活動方針・活動目標】

- ・他団体、グループと橋を築き、協力して平和構築活動を進める。
- ・講演会や学習会などを行ない、学び合う。

### 【活動計画】

#### ①講演会

目的：講演から社会の様々な問題を知り、共に考える。

内容：講師による講演と参加者との話し合い

対象者：一般

実施日時：2016年7、11月頃

実施頻度(回数)：年2回

実施場所：未定

備考：他団体・グループと共催

#### ②研究会

目的：互いに学び合う。

内容：読書やDVDを通して語り合い学び合う。

対象者：メンバー、一般

実施日時：2016年10月、2017年1月頃

実施頻度(回数)：年2回

備考：他団体やグループと協力

#### ③シンポジウム

目的：話を聞き、語り合い、学び合う。

内容：パネリストの問題提起と参加者との話し合い

対象者：一般

実施日時：2017年3月頃

実施頻度(回数)：年1回

実施場所：未定

備考：他団体やグループと共催

## ■被災者支援プロジェクト

### 【活動方針・活動目標】

- ・長期的視点にたって、福島およびその近隣県の放射能被災下に留まらざるを得ない方たちの必要に応える活動を実施する。
- ・一方的な支援活動に留まるのではなく、被災者自身の活動や広がりとなるようプログラムへの工夫を行う。
- ・放射能被災下の現状は刻々と変化しており、その問題の側面も多岐にわたる。継続的に福島の現状について学ぶことが必要であり、そのために様々な分野で福島に関わる方々から学ぶ時をもつ。また福島訪問も実施したい。

### 【活動計画】

#### ①セカンドハウス・プログラム

目的：放射能被災下に生活する家族の一時保養

内容：・神戸YWCA関係者から提供を受けた家屋を一時保養場所として用いる。

・交通費の一部を支援すると共に、水道光熱費や家賃は無料。

・日本YWCAとの共同事業(神戸を含めて全国に3つのセカンドハウスがある)。

・神戸YWCAはセカンドハウス・プログラムの全コーディネーターも担当。

対象者：福島県をはじめ近隣県の放射能被災下にある家族や単身女性

実施頻度(回数)：申し込みあり次第、随時

実施場所：兵庫県明石市

## ②福島とつながる取り組み

目的：・放射能被災下の現状は刻々と変化しており、その問題の側面も多岐にわたるため、福島の現在を継続的に学ぶ。

・この学びを通して、真に求められている活動づくりへつなげる。

内容：・様々な分野で福島と関わる方々を迎えての勉強会の実施

・福島訪問ツアー

対象者：メンバーおよび福島に関心のある会員、一般

実施日時、頻度、場所：未定

## II 国際理解・多文化共生事業

### ■国際相互支援部

#### 【活動方針・活動目標】

- ・昨年に引き続き、勉強会、他団体などに参加し、難民問題について学ぶ。
- ・TTWを通して、外部に難民問題を発信する。難民問題は人権問題であり、難民というテーマについて学ぶことで、自らの人権意識の問いなおしを図る。地域社会、世界で起きている事々を見る目を養う。この学びを通して、何らかの具体的活動につながるよう検討する。
- ・世界のYWCAからの要請（緊急支援など）に応える。

#### 【活動計画】

##### ①ランチ勉強会

目的：難民問題について理解を深める。

内容：難民問題について映像など用いて学ぶ。

対象者：部メンバー

実施日時：2016年5月～12月

実施頻度（回数）：年3回

実施場所：神戸YWCA本館

##### ②TTW (Taste the World)

目的：難民問題について外部へ発信する。

内容：・講師を招き、難民問題について考える。

・食を通してテーマとなる国を知る。

対象者：一般

実施日時：2017年1月～2月

実施頻度（回数）：年1回

実施場所：神戸YWCA本館

### ■IWA (Internathional Women's Assistance)

#### 【活動方針・活動目標】

- ・在住外国人の生活支援を行ない、日本での生活がしやすくなるようにサポートする。
- ・外国人が日本の言葉や文化にふれる場を提供し、共に生きる社会を目指す。

#### 【活動計画】

##### ①おしゃべりパートナー

目的：おしゃべりを通して外国人たちのさまざまなニーズを知り、生活情報を提供して日本での暮らしをサポートする。

内容：1対1で話す

対象者：在住外国人

実施頻度（回数）：週1回90分、月4回まで

実施場所：神戸YWCA本館、神戸市青少年会館

備考：無料

##### ②生活支援

目的：生活情報を提供して日本での暮らしをサポートする。

内容：プログラムを通して知り合った在住外国人からの依頼を受けて生活情報を収集し、提供する。

対象者：在住外国人

実施日時：随時

実施場所：神戸YWCA本館、神戸市青少年会館

### ③ IWA交流会

目的：メンバー、ボランティアの交流、情報の共有

対象者：メンバー、ボランティア（在住外国人を含む場合もある）

実施頻度（回数）：年2回

## Ⅲ 地域福祉事業

### ■地域福祉部

#### 【活動方針・活動目標】

##### ①分室の地域交流スペースとしての活用

- ・分室の目的、情報発信のあり方（パンフやHP、掲示板）、維持管理等を含めた中期計画を作り、実施していく。
- ・各グループの課題、解決、協働をすすめる。

##### ②情報発信誌「わいわい通信」を年1回発行とする。

##### ③分室ボランティアの親睦と交流のために、「互苦労さん会」を行なう。

#### 【活動計画】

##### ①地域交流スペースとして活用プロジェクト

目的：分室全体を地域に開かれた地域交流スペースとしてリニューアルする。

内容：分室の目的、情報発信のあり方、維持管理など中期計画を作り、実施する。

##### ②わいわい通信

目的：地域福祉活動を内外に広く発信する。

内容：わいわい通信（ニュースレター）の企画、編集、発行

対象者：支援者、会員、他団体の方々

発行頻度：年1回

##### ③互苦労さん会

目的：分室で活動するボランティアの親睦・交流

内容：分室外会場での昼食会

対象者：分室で活動するすべてのボランティアの方たち

実施日時：忘年会や新年会の時期

実施期間：昼食時を挟む2時間程度

実施頻度（回数）：年1回

### ■わいわいランチ

#### 【活動方針・活動目標】

- ・昼食の配食サービスを行なう事で、ひとり暮らしの高齢者やそれに準じる方、障がい者をもつ方が住み慣れた地域で、これまでの暮らしを続けていけるように食生活面から支える。

#### 【活動計画】

##### ①わいわいランチ

目的：昼食の配食サービスを行なう事で、ひとり暮らしの高齢者やそれに準じる方、障がいをもつ方が住み慣れた地域で、これまでの暮らしを続けていけるように食生活面から支える。

内容：・調理、お弁当づめ、昼食の配達サービス、片づけ、翌日の準備

- ・他活動へのお弁当の提供

対象者：・一人暮らしの高齢者やそれに準じる方、障がいをもつ方、病後などで食事作りに困難をおぼえる方

- ・東は都賀川から西は生田川の間に住居の方

実施日時：月曜日～金曜日 9：00～14：00 土・日・祝日は休み

実施場所：神戸YWCA分室

##### ②ランチ・ミーティング

目的：1年間の活動を円滑に進めるための共通認識を図る。

内容：年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置などの確認、改善点の協議など。

対象者：ランチ・ボランティア全員、職員

実施日時：活動終了後、各曜日ごとに1.5時間程度  
実施期間：2016年4月下旬～6月上旬  
実施頻度（回数）：年間1～2回  
実施場所：神戸YWCA分室

### ③調理者ミーティング

目的：調理担当者の活動を円滑に進めるための話しあいをする。  
内容：調理担当者の活動範囲、材料仕入れ先の拡充、配膳担当との棲み分け等の確認、改善点などの協議  
対象者：調理担当者全員、グループリーダー、職員  
実施日時：活動終了後、1.5時間ほど  
実施期間：2016年4～6月  
実施頻度（回数）：年1回以上  
実施場所：神戸YWCA分室

## ■わいわいダイルーム

### 【活動方針・活動目標】

- ・独居あるは昼間独居、また同居家族があっても外出の機会が少ない高齢者を対象に、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりを考えたデイサービスプログラムを実施する。また、専門職による介護予防の視点に立ったプログラムを通し、健康や本人のもつ能力の維持・向上に努める。
- ・わいわいダイルームの活動を広報し、参加者を増やす。

### 【活動計画】

#### ①生きがい対応型デイサービス

目的：高齢者を対象に、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりを考えたデイサービスプログラムを実施する。

内容：午前中、お茶を囲みながらの談話およびストレッチ体操、頭の体操、季節の歌を実施。昼食後、午後はクラフト、小物などの物づくり、理科実験などの体験プログラム、外部講師を招聘しての書道や俳画などのプログラム等を実施。プログラム後にはお茶と茶菓をいただく。

対象者：独居または昼間独居、または同居家族があっても外出の機会が少ない高齢者

実施日時：毎週火曜日 10：00～15：00

実施場所：神戸YWCA分室

#### ②介護予防プログラム

目的：介護予防

内容：専門職によるバイタルチェック、運動機能の改善、健康維持

対象者：特定高齢者、および生きがい対応型デイサービス参加者

実施頻度（回数）：月1回（毎月第4火曜日）

実施場所：神戸YWCA分室

## ■わいわい亭

### 【活動方針・活動目標】

在宅生活を送る高齢者に、栄養ある食事と楽しく過ごせる居場所を提供し、住み慣れた地域で豊かな暮らしを長く続けられるようにサポートする。

### 【活動計画】

#### ①わいわい亭（食事会）

目的：手作りの昼食を共に食べることで、外出の機会が生まれ、生活のリズムを作る。

内容：昼食会、参加者同志やボランティアとの交流

対象者：高齢者

実施日時：第2、第4水曜日 11:00～13:30

実施頻度（回数）：月2回（11月、12月は月1回）

実施場所：神戸YWCA分室

#### ②わいわい亭（歌の会）

目的：音楽を聴き、歌うことで心身の健康を向上させる。

内容：ピアノ伴奏で、新旧の曲を歌う。

対象者：歌うことに興味がある人

実施日時：第3木曜日 14:00～15:00

実施期間：年間プログラム（8月、12月、3月は休会）  
実施頻度（回数）：月1回  
実施場所：神戸YWCA分室

## ■弓の木歌の集い

### 【活動方針・活動目標】

弓木南市住の高齢者の集い「むつみの会」からの依頼により、歌を通してメンバーの親睦と生活の活性化を計ることを目的とする。

### 【活動計画】

#### ①弓の木歌の集い

目的：高齢者の活性化と親睦  
内容：キーボードの伴奏に従い、共に歌い語り合う。  
対象者：弓木南市営住宅に居住する高齢者  
実施日時：毎月1回、第3水曜日 14:00～16:00  
実施期間：同上  
実施頻度（回数）：毎月1回（年12回）  
実施場所：弓木南市営住宅

## ■ちやいやあらんど

### 【活動方針・活動目標】

- ・子育て中の家族支援、特に就学前の子供を持つ母親の仲間作り、リラックスできる場所づくりを支援する。
- ・参加者とともに親と子どもが楽しく集える場を作る。
- ・地域や社会に開かれたちやいやあらんどとする。

### 【活動計画】

#### ①ちやいやあらんど通常オープン日

目的：

- ・子育て中の家族支援、とくに就学前の子供を持つ母親の仲間作り
- ・リラックスできる場所としてオープン
- ・親と子どもが楽しく集える場
- ・子育てについての情報交換ができる。

内容：

- ・親子が自由に過ごす。
- ・希望によりプログラムを企画する（年間数回）作ろう会など
- ・ママの日本語とのコラボ

対象者：参加者

実施日時：水曜日又は木曜日 11時～15時

実施頻度（回数）：月1回～2回

実施場所：神戸YWCA分室

#### ②親子のためのゴスペルコンサート

目的：春休みに親子で楽しむ。  
内容：

- ・ハグハグマミーゴによるゴスペルコンサート
- ・子どもと一緒に歌って踊って楽しむ。

対象者：子育て中の親とその子ども（小学生以下）

実施日時：2016年春休み期間

実施期間：1日

実施頻度（回数）：年1回

実施場所：神戸YWCA本館5階

#### ③ハロウィン

目的：

- ・親子でハロウィンを楽しむ。
- ・地域の人達との出会いや会話を楽しむ。

内容：

- ・仮装してお菓子刈りに出かける
- ・分室を飾りパーティーを行なう

対象者：参加者

実施日時：10月29日前後

実施頻度（回数）：年1日

実施場所：神戸YWCA分室及び近隣

#### ④秋祭り

目的：・親子で秋祭りを楽しむ。  
・地域の人達との出会いや会話を楽しむ。

内容：未定

対象者：参加者と地域の仲間たち

実施日時：未定

実施頻度（回数）：年1回

実施場所：神戸YWCA分室とガレージ

#### ⑤特別プログラム

目的：季節や行事を楽しむ。

内容：・夏休みを楽しむ（プール遊びなど）  
・お出かけプログラムを楽しむ。  
・地域や社会の学びを楽しむ。  
・お父さんとみんなのコンサート

実施日時、場所等：未定

### ■夜回り準備会

#### 【活動方針・活動目標】

夜回り準備会の活動だが、規模としては年々縮小している。夜回りに行く対象の人も減り、活動できるメンバーも多くはない。2016年度はその活動を維持していくことが最低限の目標である。ただ病院訪問のように、現実的に担えるメンバーがいないときは休止している活動もある。

メンバーの中で、夜回りから派生してそれぞれのおかれている労働環境や日常で感じる差別について話すことがある。そういったことをもう少し深められるような学習や話し合いの場を小さくても持てれば良いと思う。報告書作成もできる限り続けて、小さくても発信していければよいと考えている。

#### 【活動計画】

##### ①夜回り

目的：野宿している人の支援

内容：野宿している人を訪問し、話を聞き、福祉や医療などの希望があればそれを受けられるよう手伝う。

対象者：野宿している人

実施日時：毎月第2、第4土曜日

実施頻度（回数）：年24回

実施場所：灘区・東灘区

##### ②病院訪問

目的：治療の継続と、退院後の生活を応援する。

内容：訪問して、話を聞く。必要があれば住居探しや役所とのやりとりなどのお手伝いをする。

対象者：入院中の人（退院後の住まいや、生活保護について困っている人）

実施日時：毎週木曜日午後

実施頻度（回数）：週1回

##### ③神戸越年・越冬への参加

目的：閉庁期間の支援（炊き出し、各種相談、交流の場など）

内容：炊き出し、生活相談、法律相談、追悼、娯楽の場への参加、手伝い

対象者：生活に困窮している人、特に住まいのない人

実施日時：越年時期（年末年始の役所の閉庁期間とその前後）

実施頻度（回数）：年1回

実施場所：東遊園地

備考：神戸YWCAは越年時期の内1日の炊き出しを担当

### ■声の奉仕

#### 【活動方針・活動目標】

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行なう。機能向上のため月2回講師による朗読の学習、指導を受け、所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団を通じ、各種図書の録音・編集・校正・デジタル化などしたものをリスナーに発送する。

#### 【活動計画】

##### ①声の情報誌「花時計」の企画／製作

目的：視覚障がい者のための朗読奉仕活動  
内容：約 60 分のデージー CD の企画、録音、編集、校正など  
対象者：メンバー  
実施期間：年 2 回  
実施頻度（回数）：各 6～10 回  
実施場所：神戸YWCA本館、日赤  
備考：録音校正など各自宅・神戸YWCA・日赤などで適宜行なう。

②季刊誌「つちのこ」の企画／製作

目的：視覚障がい者のための朗読奉仕活動  
内容：「つちのこ春号」「つちのこ秋号」のデージー CD の企画、録音、編集、校正など  
対象者：メンバー  
実施期間：年 2 回  
実施頻度（回数）：各 6～10 回  
実施場所：日赤  
備考：録音校正など各自宅・神戸YWCA・日赤などで適宜行なう。

③「PHP」担当箇所の録音

目的：障がい者のための朗読奉仕活動  
内容：月刊誌「PHP」の担当箇所の録音  
対象者：メンバー  
実施期間：年 12 回  
実施頻度（回数）：各 1 回程度  
実施場所：日赤  
備考：録音校正など各自宅・神戸YWCA・日赤などで適宜行なう。

④「PHP」の全編編集（デージー化）

目的：視覚障がい者のための朗読奉仕活動  
内容：日赤声の奉仕団各グループが録音したものを編集  
実施期間：年 2 回程度  
実施頻度（回数）：各 1～2 回  
実施場所：日赤

⑤リスナーとの交流会／準備

目的：朗読録音のリスナーと団員との交流、親睦をはかる。  
内容：毎年実施の交流会に向けての、企画・準備など  
対象者：メンバー  
実施日時：交流会（2016 年 11 月 23 日）  
実施期間：準備は 4 月から当日まで  
実施頻度（回数）：準備会は 10 数回  
実施場所：日赤

⑥小中学校への指導

目的：小中学生への啓蒙活動  
内容：小中学校へ出向いて、点字や視覚障がい者へのサポート方法を指導  
対象者：点字班などのメンバー  
実施頻度（回数）：随時  
実施場所：各小中学校

## ■カフェもぐもぐ

### 【活動方針・活動目標】

「カフェもぐもぐ」は、若年性認知症当事者の「悩みを共有できる人たちに出会い、集う場がほしい」「認知症になっても生きがいをもって、安心して、楽しく豊かに過ごしたい」という声から 2015 年 9 月神戸YWCA 地域福祉部を母体にスタートした。現在は毎月第 4 木曜日、13 時から 15 時まで分室において活動をしている。

- ・若年性認知症の人や家族、仲間たちがほっとしてつながる場となる。
- ・若年性認知症の人が、集い、生きがいをもって働くことのできる場をつくる。
- ・「カフェ」での食事提供、手作りお弁当やお総菜などお持ち帰り食品の提供など、地域の人に向けた新たなサービスを実施する。

- ・若年性認知症についての勉強会や啓発活動もしていきたい。

#### 【活動計画】

##### ①若年性認知症の人と仲間たちの「カフェもぐもぐ」

- 目的：・若年性認知症の人の想いを大切にしながら、本人や家族、仲間たちがほっとしてつながる場をつくる。  
 ・若年性認知症の人が、生きがいをもって働くことができる場をつくる。

- 内容：・自由に過ごす。  
 ・必要に応じて相談業務  
 ・木曜カフェの喫茶運営に協力

対象者：若年性認知症の人と仲間たち

実施日時：毎月第4木曜日 13時～15時（準備とミーティング11時～13時、振り返り15時～16時）

実施頻度（回数）：年12回

実施場所：神戸YWCA分室

備考：関係団体は、ひょうご若年性認知症生活支援センター（兵庫県社会福祉協議会）、こうべ認知症生活相談センター（神戸市社会福祉協議会）。

##### ②一般対象研修：若年性認知症サポーター養成講座（ステップアップ）

- 目的：・若年性認知症についての啓発活動  
 ・サポーター養成

内容：全3回シリーズ（各1日）

1回目 若年性認知症サポーター養成講座・参加者交流会

2回目 若年性認知症を知ろう（当事者から聞く）

3回目 先駆的な活動・取り組みを知ろう（他団体に聞く）、ディスカッション交流会（グループワーク）

対象者：若年性認知症に関心のある方（50人程度）

実施日時：5月～6月

実施頻度（回数）：3回シリーズで年1回

実施場所：未定

##### ③内部研修：もぐもぐ勉強会

目的：オリエンテーションプログラム

内容：気づきのためのプログラム：当事者に聞く（嫌な関わり、うれしい関わり）

対象者：カフェもぐもぐの仲間

実施日時：4月・7月・10月・1月の各月 / 第3週木曜日（10時30分～12時）

実施頻度（回数）：年4回（3か月に1回）

実施場所：神戸YWCA分室

## ■神戸YWCAまごの手

### <居宅介護支援事業>

#### 【事業方針・事業目標】

- ・誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して活動する。高齢になっても、障がいをもって、地域で自分らしく生活ができるよう自立支援に向けたケアマネジメントをする。
- ・資質向上に努め、介護、医療、多職種と連携する。
- ・神戸YWCAの地域活動「わいわいデイサービス」「わいわいランチ」「夜回り」や、あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）と連携する。

#### 【事業計画】

- ・職員のスキルアップのために研修を充実し、更新研修、主任ケアマネ研修、予防給付ケアマネジメント従事者研修、虐待、成年後見等の研修、神戸市シルバー協会などの研修にも積極的に参加する。
- ・ケアマネジャー連絡会、地域ケア会議に出席する。

### <訪問介護事業>

#### 【事業方針・事業目標】

- ・誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して活動する。高齢になっても、障がいをもって、自分らしく自立した生活ができるように、生活支援サービス、介護サービス、障がいサービス、産後ヘルプサービス、ほっとヘルプ（認知症ケア見守り）サービス等で支援していく。
- ・質の高いサービスを提供できるよう職員の質の向上に努める。
- ・介護支援専門員との連携を密に多職種との連携にも努める。

### 【事業計画】

- ・職員・登録ヘルパーのスキルアップのために研修を充実し、サービス提供責任者研修、感染症研修、シルバーサービス協会研修など積極的に参加する。
- ・登録ヘルパー研修は毎月行ない、事例検討会を充実させる。少なくとも年2回は出席する。
- ・登録ヘルパーの高齢化により、若い人材を確保する。
- ・2017年度の地域支援事業、予防給付の移行に向け情報を集め検討する。
- ・ホスピスケア・認知症ケアの研修を地域福祉コースと連携して行なう。
- ・地域に向けまごの手の広報を検討する。

## ■神戸YWCA保育園

### 【事業方針・事業目標】

- ・小規模保育事業「神戸YWCA保育園」は、女性の自立と成長をサポートするとともに、一人一人の子どもの健やかな成長と幸せを実現することを目指す。
- ・保育を必要とする子どもに対して、安心安全な環境のもとでの保育プログラムを提供する。

### 【事業計画】

所在地：神戸YWCA会館1階

開所日時：月曜日～土曜日（週6日）/標準時間7:30～18:30（延長保育あり）

利用者：生後6ヶ月～3歳未満児

定員：12人

一時預かり：あり（ただし、定員に余裕のある場合）

職員体制：園長（常勤）1人、保育士（常勤）2人、保育士（産後ヘルパー派遣コーディネーターと兼務）1人、保育士（パート）4人、調理員（パート、管理栄養士を含む）2人

保育理念：キリスト教精神のもとに、一人ひとりの体と心に寄り添い、いのちを大切にする保育を目指す

保育方針：・神によって与えられた子どものいのちをかけがえのないものとして、守り育てる。  
・子どもが愛され、大切にされていると実感をもって過ごせるように、家庭と手を携える。

保育内容：・少人数で家庭的な環境での保育  
・一人ひとりの発達やリズムにあわせた生活  
・個性を大切にしつつ、生活習慣の基礎を養う  
・季節感、自然を取り入れたあそび  
・近隣の公園などでの園外保育

## IV 生涯学習・人材育成事業

### ■愛農人倶楽部

#### 【活動方針・活動目標】

- ・農作業体験を通じて野菜の成長、収穫、食べる、参加者との交流、地域の方との交流を楽しむ。
- ・メンバー募集とビジター参加者を募集

#### 【活動計画】

##### ①農作業体験（定例会）

目的：農作業体験を通じて野菜の成長、収穫、食べる、参加者との交流、地域の方との交流を楽しむ。

内容：4月 ジャがいも追肥／5月 夏野菜種まき／6月 ジャがいも収穫、さつまいも植付け／7月 夏野菜の世話／8月 雑草刈り／9月 大根種まき、白菜苗植付け／10月 さつまいも収穫、大根間引き／11月 玉葱植付け、豆類種まき、大根追肥／12月 大根収穫／1月 新年会、大根収穫／2月 玉ねぎ追肥／3月 ジャがいも植付け

対象者：大人、子ども

実施頻度（回数）：毎月1～2回、年15回

実施場所：神戸市道場 風キャビン農園

備考：黒豆栽培日、餅つき大会と並行の時あり。

##### ②丹波篠山黒豆栽培体験

目的：黒豆の栽培方法、成長、収穫、食べる楽しみで黒豆を満喫し、参加者や地域の方々との交流を楽しむ。

内容：黒豆栽培体験

対象者：大人、子ども

実施日時：2016年6月、7月、8月、9月、10月  
実施頻度（回数）：年6回  
実施場所：篠山市町ノ田  
備考：道場の畑に行く事もあり。

### ③農園もちつき大会

目的：農作業体験と地域の人との交流  
内容：大根収穫ともちつき体験  
対象者：大人、子ども  
実施日時：2016年11月  
実施頻度（回数）：年1回  
実施場所：神戸市道場 風キャビン農園

## ■アフタヌーン・ティー

### 【活動方針・活動目標】

- ・出会い交わりの場として学びの集いを行なう。
- ・平和、人権、多文化共生の社会などの課題を、キリスト教基盤にたつ神戸YWCAの目的、理念を具体的に表現し、社会変革の力になる。

### 【活動計画】

#### ①アフタヌーン・ティー

目的：出会い交わりの場として学び合う。  
内容：未定（楽しい集いを考える）  
対象者：会員および過去の参加者  
実施日時：第1火曜日 13:30～16:00  
実施頻度（回数）：年4回  
実施場所：神戸YWCA本館

## ■文学講座

### 【活動方針・活動目標】

- ・文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。
- ・「徒然草」を完結まで読む。

### 【活動計画】

#### ①文学講座

目的：文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。  
内容：「徒然草」を読む。  
対象者：会員、一般  
実施日時：毎月第3火曜日午後13:30～  
実施期間：2016年4月～7月（予定）  
実施頻度（回数）：月1回  
実施場所：神戸YWCA本館

## ■マザーズカレッジ企画会

### 【活動方針・活動目標】

- ・よりよく生きるために、子ども・おとな、本との出会いの中で、「ことばの力・生きる糧・人が育つ」をキーワードに研究会、講演会を実施する。
- ・それぞれの地域で貢献できる質の高いストーリーテラーの養成を目指す。

### 【活動計画】

#### ①ストーリーテリング研究会

目的：ストーリーテラーとしての資質の向上およびメンバーが活動の場で学んだことを生かす。  
内容：ストーリーテリングの実践、講評。テキスト「児童文学論」の学習、テキストから選んだ児童文学作品の感想、意見交換をして知識を深める。  
対象者：図書館、学校、児童館でのおはなしボランティア  
実施日時：5、6、9、10、11、1、2月の第4金曜日

実施頻度（回数）：年7回  
実施場所：神戸市青少年会館

②公開講座

内容：未定

③子ども文庫支援活動 児童養護施設・神戸真生塾おはなし会

目的：絵本、おはなしを通して子どもたちと楽しみを分かち合う。

内容：絵本の読み聞かせ、おはなし

対象者：施設の子どもたち、先生

実施日時：毎月第3日曜日 14：00～15：00（8、12月を除く）

実施頻度（回数）：年10回

実施場所：神戸真生塾

## ■わいわい科学クラブ（旧理科実験工作教室）

### 【活動方針・活動目標】

- ・子どもたちの科学する心・考える力・自然への豊かな目を育てる。
- ・子どもたちの主体性、リーダーシップを育成する。
- ・以上の目標を達成できるように、毎月1回土曜日に各75～90分の2部制や3部制の「科学クラブ」を開催し、子どもたちひとり一人が、身近な題材で実験をしたり、もの作りを体験したりすることを楽しく取り組めるようにサポートする。

### 【活動計画】

①わいわい科学クラブ（ふしぎワールドⅡ）

目的：子どもたちが、みじかなふしぎを実験や工作として体験し、楽しむ。

内容：身近な科学的事象をテーマにした実験や工作活動

対象者：小学1～6年生

実施日時：各月土曜日の1日、午前と午後の2部制か3部制など

実施期間：2016年5月～2017年2月

実施頻度（回数）：年10回

実施場所：神戸YWCA本館、分室オープンスペースと待合スペース

②わいわいダイルーム出前科学クラブ

目的：神戸YWCAわいわいダイルームの午後プログラムのひとつとして実施する。

内容：身近な科学的事象をテーマにした実験や工作活動

対象者：ダイルームの利用者とお世話するボランティアの人々

実施日時：火曜日午後の半日

実施期間：2016年4月～2017年3月

実施頻度（回数）：年4～5回

実施場所：神戸YWCA分室

## 神戸YWCA学院

### ■日本語コース

#### 【事業方針・事業目標】

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行なう。

#### 【事業計画】

①レギュラーコース

目的：短期集中型で日本語を総合的に学びたい学習者を対象にしたクラス。日本で生活している、または、生活する予定がある学習者を対象に、すぐに使える実用的な日本語のレッスンを行なう。日本語の構造、聞く、話す、書く、読むを総合的に学習することで、実用的で正しい日本語を身に付けることを目指す。

内容：文法、会話、発音、文字、等

対象者：初級～中級

実施日時：1期：4月11日（月）～7月8日（金）

2期：9月5日（月）～11月25日（金）

3期：12月5日（月）～3月10日（金）※12月23日（金）～1月9日（月）冬期休暇

実施期間：3学期制、12週／期、週5回（初級クラス）・週3日（中級クラス）、各日3時間

実施場所：神戸YWCA本館

②プライベートレッスン

目的：学習者が学びたい内容を学習者に合ったレベルとペースで学ぶ。

内容：受講生の希望に沿う（ビジネス日本語等）。

対象者：個別レッスン希望者

実施日時：通年（10回／1クール、各日90分）

実施頻度（回数）：随時

実施場所：神戸YWCA本館

備考：セミプライベートレッスン（2人～4人）あり。

派遣プライベートは、派遣手数料1000円／回で対応する。

③日本語能力試験対策講座

目的：日本語能力試験の対策

内容：日本語能力試験に対応した、効果的な学習方法を学ぶ。

対象者：N3～N1

実施日時：2016年5月～6月、10月～11月

実施期間：2ヶ月（全8回、週1回、90分／回）

実施場所：神戸YWCA本館

④キリスト教関連日本語コース

目的：日本の教会で礼拝や説教を行っている方向けの原稿添削等

内容：礼拝・説教原稿日本語添削等

対象者：中級

実施頻度：随時

⑤委託申請および助成申請予定事業

(1) 兵庫県高等技術専門学校 委託訓練事業「定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース」

目的：正式な日本語教育を受ける機会がなかった外国人（日本国籍含む）生活者が将来自立した生活を営めるよう、日本語と基礎的なビジネススキルのレベルアップを図る。

内容：就職に必要な正確な基礎日本語、面接時の日本語、ビジネスマナー、基礎的なITスキル、職場見学、職業人講話等（予定）

対象者：初心者向け（予定）

実施日時：2016年9月下旬～12月下旬

実施期間：週5日、各日9:30～16:10（50分×6コマ）

実施場所：神戸YWCA本館

(2) 兵庫県国際交流協会委託事業「はっぴい・すくーる 神戸YWCA」

目的：当事業は以下の4つのプログラムで構成される。

<ママの日本語クラス>

日本語を母語としない外国人（日本国籍も含む）の母親及び妊娠中の方を対象に、出産や育児、日本社会における子育てに関する基礎的な日本語学習の機会を提供する。同時に、日本語が不自由なため地域で孤立しがちな母親たちが互いの悩みや意見を交換し、支え合うセーフ・スペース及びネットワーク・スペースの確立を目指す。

<はっぴい・さぼーと>

日本語を母語としない外国人（日本国籍も含む）児童・生徒を対象に、学校の勉強に必要な科目学習のサポートを提供する。

<はっぴい・すくーる>

「はっぴい・さぼーと」の受講生や修了生等の交流の場、居場所作りを目指す。

内容：①ママの日本語クラス：出産、育児に関する基礎日本語

②はっぴい・さぼーと：学校教科学習のサポート

③はっぴい・すくーる：交流と情報交換

対象者：①子育て中の外国人ママ

②③日本語を母語としない外国人（日本国籍も含む）児童・生徒

実施日時：通年

実施頻度（回数）：①ママの日本語：月2回

②はっぴい・さぼーと：週1回、毎週土曜日

③はっぴい・すくーる：月1回、原則第2土曜日

実施場所：①神戸YWCA分室、賀川記念館（予定）

②③ 神戸YWCA本館

- (3) 神戸YWCA学院奨学金事業・兵庫県国際交流協会委託事業 「勉強に役立つ日本語クラス」  
 目的:日本語を母語としない13歳～18歳までの外国人児童・生徒(日本国籍も含む)の日本語(学習言語)と教科日本語を指導する。  
 内容:日本語指導、教科日本語指導  
 対象者:日本語を母語としない13歳～18歳までの外国人児童・生徒(日本国籍も含む)  
 実施日時:2015年8月8日(月)～8月26日(金)  
 実施期間:3週間、週5日 各日9:30～13:20  
 実施場所:神戸YWCA本館
- (4) 文化庁委託事業「外国人生活者の自立生活に向けた日本語支援普及プロジェクト」  
 目的:阪神間の日本語が不自由な外国人生活者の地域での生活をサポートし、共に暮らす地域を実現するために日本語教育の普及を目的とする。神戸市の行政、外国人支援団体、日本語教育の専門家等外部団体と協力し、幅広く対象者を募集する。同時に、日本人の地域住民および行政職員に向けて「やさしい日本語」の普及を行う。  
 内容:・運営委員会、中核メンバー会議  
 ・外国人対象「生活のための基礎日本語講座」  
 ・日本人対象「やさしい日本語」ワークショップ  
 ・日本語学習者と地域住民が協同する地域イベントづくり  
 対象者:阪神間の日本語が不自由な外国人生活者、日本人地域住民  
 実施頻度(回数):年1回  
 実施場所:神戸YWCA本館、地域イベント会場、区役所、地域の会館など
- (5) 神戸市中央区赤い羽根地域づくり助成事業「『やさしい日本語』の啓発活動と冊子作製」  
 目的:一般の日本人が「やさしい日本語」を学ぶきっかけとして、冊子作製をし、啓発活動を行う。  
 内容:・「やさしい日本語」冊子作製  
 ・「やさしい日本語」ワークショップ  
 対象者:日本人地域住民  
 実施日時:未定  
 実施場所:神戸YWCA本館、地域の会館など

## ■日本語教師養成コース

### 【事業方針・事業目標】

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師を養成する。

### 【事業計画】

#### ①夏期日本語集中講座

目的:日本語教師を目指す大学生へ実習の場の提供(YWCA主催の実習講座は開催しない)。

内容:帝塚山学院大学、神戸女学院大学の実習の受け入れ

実施日時:2016年7月30日～8月5日(予定)※7/29準備日

実施場所:神戸YWCA本館

備考:プレイメントテストは7月2日か7月9日に実施予定。

#### ②日本語ボランティア養成講座

目的:日本語ボランティアの入門講座

内容:日本語教育の考え方、教え方を講義・演習で学ぶ。

対象者:日本語に興味がある方、日本語ボランティアをしてみたい方、現在ボランティアをしているが教え方が分からない方等

実施日時:土曜日10:00～12:30 全5回

実施期間:5月14日～6月11日(予定)／10月8日～11月5日(予定)

実施場所:神戸YWCA本館

備考:日本語コースのはっぴー・すくーる、はっぴー・さぼーと、ママの日本語などへのボランティア補充へつなげられるように取り組む。

## ■外国語コース

### 【事業方針・事業目標】

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。

- ・受講生のニーズに応えたクラス・プログラム運営に努める。

#### 【事業計画】

##### ①レギュラーコース

目的：国際相互理解のための外国語を学び、世界平和のために役立てる。

内容：英語（初級～中上級3クラス）・準中級ハングル（1クラス）

対象者：社会人

実施日時：火、水、木、土曜日（計4コマ）11:15～12:45、13:30～15:00、19:00～20:15

実施期間：年3学期制

実施頻度（回数）：各学期12週

実施場所：神戸YWCA本館

##### ②プライベートコース

目的：個人のニーズに応じた語学学習をフレキシブルに提供する。

内容：英語、韓国語、中国語、スペイン語などのプライベートレッスン（10回で1クール）

対象者：子ども～成人

実施日時：学習者のニーズにあわせて日時・講師を選択

実施期間：随時

実施頻度（回数）：原則週1回（90分レッスン）

実施場所：神戸YWCA本館

##### ③カスタムコース

目的：ニーズに合わせてクラスをカスタマイズする。3人以上で開講

内容：・All Together（帰国生のための英語クラス。年少児～小学生対象、個々の希望に沿った形で英語を保持）

・シニア英会話（シニアの英会話クラス）

対象者：All Together：5歳～小学生／シニア英会話：社会人

実施日時：・All Together：土曜日（13:45～15:15、15:30～17:00の2クラス）

・シニア英会話：火曜日（10:30～12:00）

実施期間：年3学期制

実施頻度（回数）：All Together：春学期13回、秋学期13回、冬学期10回／シニア英会話：各学期12回

実施場所：神戸YWCA本館

##### ④オフキャンパス

目的：質の高い語学教育を提供する。

プログラム内容：コープカルチャー宝塚（英語2クラス、韓国語3クラス）／兵庫県Dクラス（英会話1クラス）

対象者：社会人

実施日時：コープカルチャー宝塚：月曜日・木曜日／兵庫県Dクラス：木曜日

実施頻度（回数）：年30回程度

実施場所：コープカルチャー宝塚、兵庫県職員会館

##### ⑤特別講座

目的：定期開講の講座枠に当てはまらないプログラムを提供する。相互理解のための語学、語学を使ったワンランク上の学習をめざす。

内容：・韓国語・初級講座／「英語で聴く！」シリーズ（様々なテーマの講座を英語で聴く）

対象者：社会人

実施日時：韓国語・初級講座：金曜日（10:30～12:00）／「英語で聴く！」シリーズ：不定期

実施期間：韓国語・初級講座：月2回／「英語で聴く！」シリーズ：随時

実施頻度（回数）：韓国語：年12回／「英語で聴く！」シリーズ：年1回程度

実施場所：神戸YWCA本館

## ■地域福祉コース

#### 【事業方針・事業目標】

地域福祉に貢献できる人材を育成する。

#### 【事業計画】

##### ①ホスピス研修

目的：介護従事者のスキルアップ

内容：在宅ホスピスケアの実際に役立つ技術と知識を学ぶ。

対象者：現職の介護従事者、これから従事する者

## ■文化教養コース

### 【事業方針・事業目標】

人々のエンパワーメントのために文化・教養の視点から支援する。

### 【事業計画】

#### ①ピアノ教室

目的：ピアノのレッスンを通して生涯学習として音楽を楽しむ。

内容：受講者一人ひとりの目標やレベルに合わせる。

対象者：初めての人、もう一度習いたい人、子どもから大人までレベルを問わない。

実施日時：毎週1回または月2回 月曜日コースのみ

実施場所：神戸YWCA分室

#### ②中国医療気功

目的：気功を学び身体も心も健康になる。

内容：実際に身体を用いての中国医療気功の学び

対象者：一般

実施日時：年12回、毎月第2木曜日 14:30～16:00

## V 活動共通事業

### ■キリスト教基盤部

#### 【活動方針・活動目標】

標語聖句が、具体的に会員に浸透するような働きを考える。

#### 【活動計画】

#### ①神戸YMCA / YWCA合同祈祷週

目的：世界中のYMCAとYWCAは、毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする一週間を合同祈祷週とし、1904年以来毎年共に祈りの時を守っている。この一週間、YMCA/YWCA運動が、よりよい世界を実現するための基盤となる魂のビジョンを再確認する。

内容：・合同祈祷週礼拝

・期間中それぞれがプログラムを計画（1回～数回）

対象者：神戸YMCA会員、神戸YWCA会員及び一般

実施日時：礼拝 2016年11月8日（火）

実施期間：2016年11月6日（日）～12日（土）

実施場所：神戸YWCA、神戸YMCA、その他

#### ②神戸YWCAクリスマス

目的：・会員がクリスマスの意味を学ぶ。

・イエスの誕生の喜びを届け、共に祝う。

対象者：神戸YWCA会員及び一般

内容・日時：未定

#### ③神戸市民クリスマス

目的：・クリスマスの喜びを知り、共に祈ることの大切さを確認する。

・他のキリスト教団体との協働によるエキュメニカル運動を目指す。

内容：キャロリング、子どもプログラム、ほっとタイム、祈りと祝福のとき、青年のつどいなどのプログラムを予定

対象者：神戸市民

実施日時：12月16日（金）

実施場所：カトリック神戸中央教会

備考：神戸市内及び近郊のキリスト教諸教会と神戸YMCA、神戸YWCAが協力して委員会を組織し、開催する。会場となる教会は持ち回り。

#### ④世界祈祷日

目的：世界祈祷日国際委員会が中心となり、世界中で教会女性達によって実施される。テーマにそって共に祈り合い、キリストの愛を世界に広める。世界祈祷日の献金は、式文作成国の女性たちの活動、また、国内外の女性たちのための活動に捧げられる。

内容：礼拝（礼拝内容企画の担当団体の持ち回り）

対象者：神戸阪神地区キリスト教各教会教派・団体メンバー及び一般

実施日時：2017年3月3日（金）

備考：1887年アメリカの女性たちが移住者や抑圧されている人達を忘れないために、世界祈禱日を始めた。その後二度の世界大戦を経験し、和解と平和を求める祈りへと教派を超えて広がった。

⑤神戸YMCA / YWCAイースター早天礼拝

目的：神戸YMCA / YWCAの会員とともにイースターの意味と喜びを知る。

内容：・分室においてイースターエッグを制作（神戸YWCA担当）

・イースター礼拝および交わりのひととき（YMCA / YWCAで礼拝役割分担あり）

対象者：神戸YMCA / YWCA会員、職員

実施日時：2017年4月16日（日）7：00～8：00

実施場所：東遊園地（雨天未定）

## ■讃美歌を歌おうかい

### 【活動方針・活動目標】

讃美歌に親しみ、共に楽しく歌う。

### 【活動計画】

①讃美歌を歌おうかい

目的：讃美歌に親しむ。

内容：Ⅱ編つき讃美歌を使用

対象者：会員および一般

実施日時：毎月第1木曜日 15：00～

実施頻度（回数）：年11回

実施場所：神戸YWCA本館

## ■聖書を読む会

### 【活動方針・活動目標】

聖書を読んでキリストの平和を学ぶ。

### 【活動計画】

①聖書を読む会

目的：聖書を読んでキリストの平和を学ぶ。

内容：ともに聖書を読み、先生に解説して頂き話し合いの時を持つ。

対象者：会員および一般

実施日時：毎月第一木曜日 13:30～15:00

実施頻度（回数）：年11回

実施場所：神戸YWCA本館

## ■会員委員会（旧会員ケア委員会）

### 【活動方針・活動目標】

- ・会員、会友、賛助員の現状を把握し、会費の管理を行なう。
- ・会員サービスの向上（誕生日カード、グリーティングカードの送付等）を図る。

### 【活動計画】

①会費請求作業

目的：神戸YWCA会員の会費納入状況を把握して、未納年を知らせ、会費納入の推進を図る。

対象者：会員、会友

実施日時：2017年1月末に会費納入の現況を知らせる書類を会員、会友へ発送

②賛助員のお願い

目的：神戸YWCA活動への応援者を維持、拡大する。

対象者：前年度賛助員

実施日時：2016年4月に賛助員継続のお願いの書類を発送

③会員サービスの向上

目的：神戸YWCAの会員の現況如何にかかわらず、神戸YWCAの家族であり仲間である全メンバーに神戸YWCAから親睦のメッセージを届ける。

内容：誕生カード、グリーティングカード等の発送  
対象者：会員、会友、あるいはケアが必要な方  
実施日時：随時

## ■運営委員会

### 【活動方針・活動目標】

会員活動を活性化するため組織を見直す。

### 【活動計画】

#### ①運営委員会

目的：運営委員会の使命を果たすための議論と決定を行なう。

内容：会員活動関連、世界YWCA・日本YWCA・他市YWCAからの要請および連携、他団体からの要請および連携など

対象者：運営委員

実施頻度（回数）：年12回

#### ②キックオフ・ミーティング

目的：部会、グループ運営のオリエンテーション及びリーダーシップトレーニング

内容：・日本YWCAおよび神戸YWCAの目的と組織概要、運営規約について確認

・各部会、グループ活動の活動目標を確認

・一年をスタートするにあたっての規範作り

対象者：神戸YWCAで活動する人すべて

実施日時：2016年5月予定

実施頻度（回数）：年1回

実施場所：神戸YWCA本館

#### ③定期会員集会

目的：神戸YWCAの会員が主体的に組織運営に関わること、及び会員の交流を目的とする。

内容：・その年度の報告と次年度計画の報告・承認

・会員活動に関する変更事項や提案の確認・承認

・会員相互の交流、共有の場

対象者：会員、会友、その他希望者すべて（ただし会員以外は議決権はない）

実施日時：2017年3月中旬

実施場所：神戸YWCA本館

#### ④組織見直しのためのプログラム

目的：会員活動の活性化

内容：・次世代育成、新しい活動づくりを中心とした取り組みの実施

・必要に応じてリトリートの実施

対象者：会員全体

実施日時：未定

## VI 広報・ファンドレイジング

### ■バザー実行委員会

#### 【活動方針・活動目標】

2016年度の運営委員会において検討する。

#### 【活動計画】

##### ①ふれあいバザー

2016年度の運営委員会において検討する。

##### ②リサイクルショップふるふる

本館の改装により売場を閉鎖するため、2016年度の活動場所、内容については4月以後に検討予定。

### ■機関紙編集部

#### 【活動方針・活動目標】

会員・会友・賛助員・寄付者・他市YWCA・神戸にある主なキリスト教会・関係団体はじめ、広く一般に

神戸YWCAの活動を伝えるために機関紙を発行する。

#### 【活動計画】

##### ①「神戸YWCA機関紙」発行

目的：会員・会友・賛助員・寄付者・他市YWCA・神戸にある主なキリスト教会・関係ある他団体に広く神戸YWCAの活動を伝えるために機関紙を発行する。

内容：機関紙「神戸YWCA」の企画、編集、制作、発送

1面 神戸YWCAの方針に沿ったオピニオン掲載（年3回程度外部の方に執筆を依頼）

2～3面 各部・グループの活動やイベントの予告報告記事、連載記事「たてごと」（神戸YWCA会員）、「被災者支援プロジェクトだより」

4面 事業部関係のたより、神戸YWCAへのおさそい（イベント予告）、事務報告

発行部数：1,000部

サイズ：A3二つ折り（発送時に日本YWCA機関紙と神戸YWCAの各部・グループ主催のイベント・講演会のちらしを同封）

発送先：会員・会友・賛助員・寄付者・他市YWCA・神戸にある主なキリスト教会・関係他団体

発行頻度：年6回 隔月に発行（4・6・8・10・12・2月）

実施場所：神戸YWCA本館

備考：

・企画・編集グループ

内容：（紙面内容案）、原稿依頼状送付、原稿催促、レイアウト作業（担当職員）、執筆者礼状送付

・校正・発送グループ

内容：生原稿チェック、原稿打ち込み、レイアウトチェック、最終校正、発送

## ■理事会

#### 【活動方針・活動目標】

将来の時代状況の変化を見据え、中長期的視点に立って事業課題を解決する。